



お江戸松愛

2023年9月 第79号

松愛会 東京都支部
発行人 志村 孝子
編集人 浅野 正裕

パナソニック松愛会 東京都支部 支部報 <http://www.shoai.ne.jp/tokyo/>

2023年7月31日現在 支部会員数 783名

お江戸夢中人

古川哲朗さん (72歳/大田区)

オオタニサン 藤井聡太さん

・・・古川哲朗さん?

人生100年の時代、第一線から退いたあとの長い時間に何をしようかとぜいたくな悩みを持つ会員も多だろう。もちろん体の続く限りは働きたいという人もいる。自分や家族の病気に日々苦しい対応をしている会員もいる。そんな中、小さい頃教わった趣味の囲碁を60年近く楽しみ学び、今ではプロの元本因坊に3子をおいて(ハンディをもらって)勝つこともあるアマチュアの最強の一人となった古川哲朗さんを紹介したい。古川さんに生涯の友である囲碁とのかかわりをきいてみた。



ライバルと対局

始めたきっかけは「中学3年生の時、父から教わりました。父の囲碁の本を繰り返し読み、また新聞の囲碁欄を毎日見っていました。」

小樽商科大学に進むと硬式テニス部に

入る。雪のため半年しかテニスはできず、後の半年は大学囲碁部や町の碁会所で打っていた。そのころはアマ三段くらい。入社してからは寮の近くの碁会所で腕を磨き五段になった。現在の強さは? 「アマ七段くらいです。コンプレッサ一甲府勤務の時に連合の大会で山梨県代表になり、地元紙で紹介されました。都代表を目指していますが、東京はレベルが高く選手層も厚いので、もう一步及びません。」



石田二十四世本因坊(右)の指導碁

強くなる秘訣は。また60代、70代でも強くなれますか。「強くなるには、①先を読む力 ②状況をどう判断して着手するかの2つが必要です。②は自分より強い人に教えてもらうか、または AI を参考にするのがよいです。①の先を読む力は自分で少しずつレベルアップするしかないので、詰碁を解くのがよいとされています。」「私は72歳ですが、まだレベルアップできると考えています。いま高田馬場のプロ主催碁会で指導を受けています。40名ほどの会員の4割は、70代、80代の方々。また7名は女性です。

碁碁は白石と黒石だけのゲームです。ルールだけ覚えれば言葉の壁もなく世界中で楽しめます。老若男女問いません。認知症予防には大変効果的と言われています。ぜひ碁碁をたしなんでみませんか。」

古川さんは、思い出と生きがいと夢を語ってくれました。

(聞き手 佐藤文昭)

支部だより (第161回 みちくさ会のご報告)

「渋沢栄一ゆかりの地を巡る パート2」

とき:6月3日(土) 参加:13名 距離:約4.5Km
コース:JR京浜東北線 王子駅~お札と切手の博物館~
旧醸造試験所第一工場~飛鳥山公園~七社神社
~旧古河(ふるかわ)庭園 (解散)

昨年11月に続く渋沢栄一ゆかりの地を巡る散歩道。今回は洋紙発祥の地、北区王子周辺です。直前までの雨もやみ王子駅前をスタート。国立印刷局が運営する「お札と切手の博物館」を見学し、「赤煉瓦酒造工場」と呼ばれた旧醸造試験所や、飛鳥山公園にある渋沢庭園などを回りました。

た。ここから日光御成道(北本通り)を「江戸」に向かうと、西ヶ原の一里塚を経て七社神社に。渋沢も氏子だったそうです。ちょうど「茅の輪」が置かれており一同がくぐって穢れ



を祓いました。その先にある旧古河庭園は、台地に洋館と西洋庭園、低地に日本庭園を配し、バラの花壇が有名ですが、今年は少し盛りが早かったようです。(報告 山田 昇)